マテリアリティ	主な課題	主な取り組み																	
組織統治	企業理念・ビジョン実現に向けた行動	企業理念の追求とビジョン実現に向け、自発的に行動します。																	
	従業員の連携と自己発想ができる企業風土	企業の一員として連帯感を持ち、自己の能力・活力を発揮できる企業風土を醸成します。			●		●	●		●	●		●	●	●		●	●	●
	会社規定・規則の順守	会社規定および各種規則を順守し、健全な会社の発展に努めます。																	
本業での社会貢献	お客様・お取引先の信頼獲得	お客様のニーズにかなった製品・サービスを提供するとともに、正しい情報を的確に提供し、誠実な行動を通じて信頼関係を築きます。また、公明正大な取引を通じてお取引先との相互発展を図ります。		●						●	●			●		●	●		●
人権	労働における基本的原則および権利	児童労働、強制労働その他の不当な労働行為を認めません。																	
	差別および社会的弱者	国籍、人種、年齢、性別、性的指向、宗教、障がいなど、いかなる理由による差別や人権侵害も行いません。	●	●	●		●			●		●						●	
	デューディリジェンス	虐待、暴力、職場いじめ、セクシャルハラスメント、パワーハラスメントなどの人権侵害行為を行いません。																	
	加担の回避	人権侵害への加担や、それにより不当に利益を得る行為を行いません。																	
労働慣行	労働における安全衛生	社員の安全と心身の健康に配慮した職場環境を整備します。																	
	労働条件および社会的保護	適切な労働条件を保障し、社会保障が確実に受けられる環境を整えます。	●	●	●	●				●	●		●					●	●
	職場における人材育成および訓練	企業と社員の相互発展を実現する人材を育成します。																	
環境	汚染の予防	環境マネジメントシステムを継続的に運用し、環境汚染の防止に努めます。																	
	持続可能な資源の利用	エネルギー、原材料、水などの資源を有効に利用します。		●	●			●	●		●		●	●	●	●	●		●
	気候変動の緩和および適応	温室効果ガスの排出削減に取り組みます。																	
	環境保護・生物多様性・自然生息地	自然環境および生態系の保護に取り組みます。																	
公正な事業慣行	公正な企業運営	腐敗行為、利益相反、不正・詐欺、資金洗浄、反競争的慣行を否定し、ステークホルダーの利益と公益を追求します。																	
	情報の適正な管理	個人情報および営業秘密を適切に管理します。																	
	公務員・取引先との適切な関係	贈収賄や癒着を否定し、公務員・取引先との健全な関係を維持します。				●				●				●				●	
	反社会的勢力への対処	反社会的勢力からの不当要求には毅然と対応し、関係機関と連携して排除します。																	
	バリューチェーンにおける社会的責任	ステークホルダーにも社会的責任の遂行を求めます。																	
	財産権の尊重	他者の有形・無形の財産権を尊重し、自らの財産権も堅持します。																	
消費者課題	公正なマーケティングおよび情報提供	品質マネジメントシステムを継続的に運用し、製品品質の維持・向上に努めます。																	
	持続可能な消費	食品安全マネジメントシステムを運用し、安全・安心な製品・サービスを提供します。		●	●						●			●		●	●		●
コミュニティへの参画と発展	社会とのコミュニケーション	地域社会の発展や文化活動に協力し、社会との対話を図ります。																	
	教育および文化	香りを通じた文化の普及に努めます。	●	●	●	●				●			●	●			●	●	●
	社会的投資	地域社会の生活向上や防災のためのインフラ整備などへの貢献に努めます。																	